

キンモクセイ



高さ

5～8m

原産地

中国

花期

秋

中国からはいつてきて、公園や庭によく植えられている木です。
5mmほどの小さな花はとてもよいかおりがします。雄株お か ぶと雌株め か ぶ
がありますが、日本には雄株お か ぶしかないなので実はなりません。

キク



高さ

30～100cm

原産地

中国

花期

秋

鑑賞用のキクは中国のキクを品種改良したものとされており、
今ではとても多くの品種があります。日が短くなると花がさきはじ
めるので、電灯で調節して1年中栽培されています。

ベゴニア



高さ

30～100cm

原産地

熱帯、亜熱帯

花期

1年中

ベゴニアにはとてもたくさんの品種ひんしゅがありますが、葉が左右対称た い し ょ うではなく、雄花お ぼ なと雌花め ぼ ながあるという共通きょうつうのつくちょうがあります。

コスモス



高さ

100～150cm

原産地

メキシコ高地

花期

秋

秋を代表する花として花だんや公園などによく植えられています。ポツンとさくコスモスもきれいですが、広いところにたくさんのコスモスをうえたコスモス畑が各地かくちにあり、とても見ごたえがあります。

ヒガンバナ



高さ

30～50cm

分布

日本全土

花期

秋

秋のお彼岸ひがんのころに花がさくので「ヒガンバナ」といいます。花がさいたあとに葉が出て、葉はつぎの年の春にはかれてしまいます。つまり花と葉が入れちがいにはえてくるというかわったせいしつがあります。

ヤクシンウ



せいしつ

30～120cm

分布

北海道～九州

花期

秋

山や林の中の日あたりのよいところによくはえています。よくえだ分かれしてたくさんの黄色い花をつけ、さきおわると下を向いてしまいます。くきを切るととても苦い白い液えきが出てきます。

セイタカアワダチソウ



高さ

100～250cm

原産地

北アメリカ

花期

秋

北アメリカから日本にはいつてきた草で、すごいいきおいで日本各地^{かくち}にひろがりましたが、今はすこし落ちついています。くきにはザラザラした毛^{せいちよう}がはえており、とても大きく成長します。

ヒメムカシヨモギ



高さ

80～180cm

原産地

北アメリカ

花期

秋

明治時代に日本にはいつてきた草で、今では全国各地のあき地やあれ地にはえています。この草のように外国から日本にはいり日本で野生化している植物を「帰化植物」といいます。

アメリカセンダングサ



高さ

50～150cm

原産地

北アメリカ

花期

秋

北アメリカからはいつてきて、今では北海道をのぞく全国各地の川原や田んぼの近くなどの少ししめったところによくはえています。種にはカギがあり、よく服にくっついてこまります。

キクイモ



高さ

1～2m

原産地

北アメリカ

花期

秋

花はキクににていてイモができるので「キクイモ」といいます。
昔はイモをとるために栽培さいばいしていましたが今ではほとんどしていません。
道ばたや空き地，どてなどによく群生ぐんせいしています。

秋のサクラの木の観察

サクラの木のようすは、夏にくらべてどのようにかわっているか調べよう。

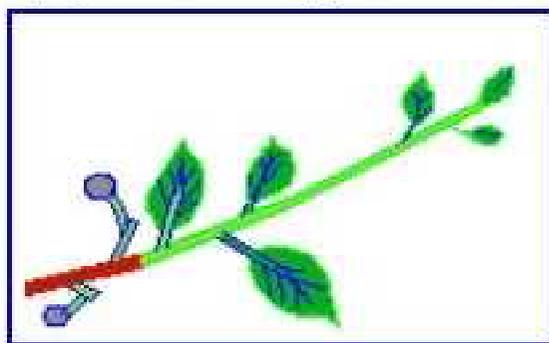
次の点に注意して観察^{かんさつ}し、そのようすをスケッチする。そのとき、気づいたことを書く。

- 1 葉の色はどうなっているか。
- 2 しるしをつけた1本のえだののびはどうか。
- 3 えだになにかできているものはあるか。
- 4 観察^{かんさつ}したときの天気、空気の温度はどうか。

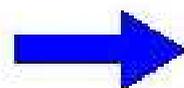
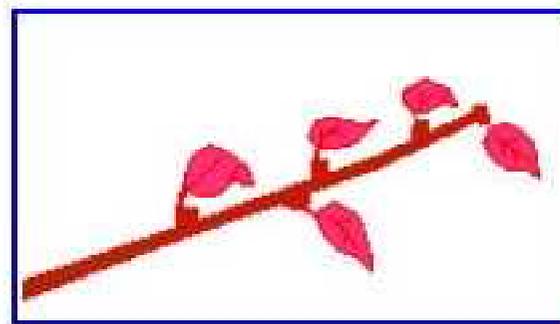


秋のサクラの木の観察のけっか

7月10日 晴れ 28℃



10月15日 晴れ 19℃



春にくらべると、葉は大きくなり、数もふえた。えだも長くなり、茶色っぽくなってきた。

葉が茶色になり、かれてきた。えだは夏のときからほとんどのびていない。

秋の野山

秋になると、キミの身のまわりの木の葉は、どんな色になるのかな？

秋になると、緑色だった野山の木々の葉は赤色や黄色、茶色にかわっていきます。



キミはもみじがりに行ったことはないかな？
もみじがりというのは、木の葉がいろいろな色にそまってきれいになった山のながめを楽しむことだよ。

秋の草花の観察

花だんや野原の，草花のようすを調べてみよう。

- 1 どのような草花が多く見られるか。
- 2 夏に見られた草花はどうなったか。



夏には，野原にノアザミの花がさいていたよ。



ノアザミ

ススキの緑色の葉が長くのびていたね。



秋の草花の観察のけっか

- キクやコスモスの花がさいている。
- ススキはほが出ている。
- 野原の草花は，だんだんかれ始めて茶色になっている。
- 夏には見られたもので，秋には見られないものは，**ノアザミの花**です。

コスモス



ススキ



秋のへちまの観察

秋になると、へちまはどうなるのかな？

- 1 へちまのくきののびを調べる。
- 2 へちまの実を1つえらび、どうなるかを観察し、その中を調べる。

夏のへちま



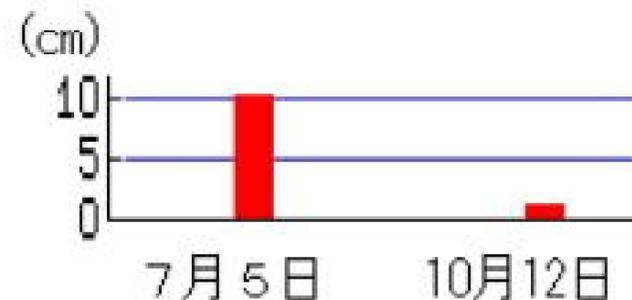
花びらがちったあと、その
ねもとがふくらんできたね。
その部分はどうなるのかな？

秋のへチマのくきののび方

夏から秋にかけて、へチマのくきののび方はどうかわるのかな？

下の表は、7月と10月の、それぞれ1日(24時間)にのびたくきの長さです。右の図は、これをグラフに表したものです。

	7月5日	10月12日
天気	晴れ	晴れ
1日にのびた長さ	10.5cm	1.2cm



秋にへチマのくきが1日にのびる長さは、夏とくらべると短い。

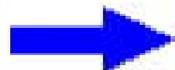
へちまの実の観察

へちまの実はどうなるのかな？

8月20日 晴れ



花がかれたあと、
ねもとがふくらん
できた。



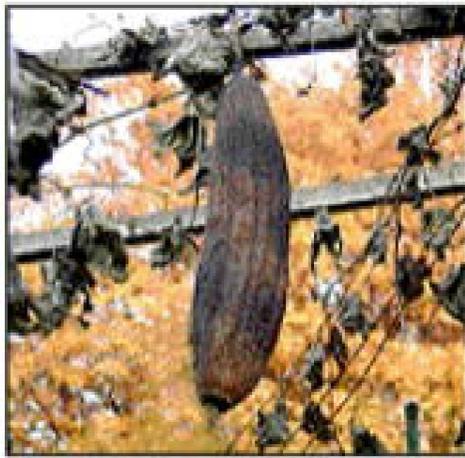
10月19日 晴れ



実がどんどん大き
くなってきた。



11月30日 くもり



実が軽くなり、色
が茶色になってき
た。

軽くなった実の中には、たねができています。

秋のツバメの観察

夏，子育てをしていたツバメはどうなったのかな？



のき下のすに，ツバメ
がいなくなったよ。



この前，電線にたくさん
のツバメがとまっている
のを見てから，そのあと
見なくなったわ。

ツバメのわたり

ツバメは、どうして見られなくなったんだろう。

秋になると、ツバメは育てた子とともに、あたたかい南のほうにとび立ちます。

これを、ツバメのわたりといいます。

右の図は、ツバメのわたりのコースです。



野原のこん虫の観察

10月12日



夏には小さいよう虫だったトノサマバッタやコオロギの成虫^{せいちゅう}が、多く見られた。

10月14日



アキアカネが赤く色づいていた。

秋の植物・動物のまとめ

- ◆ 秋になると、サクラの葉は茶色になりかててくる。えだはあまりのびない。
- ◆ 秋には、野原の草花は、だんだんかれ始めて茶色になる。
- ◆ ヘチマは、秋になると実が大きくなって茶色になり、中にたねができる。
- ◆ ツバメは秋になると、見られなくなる。
- ◆ 夏によう虫だったこん虫は、秋になると成虫せいちゆうになり、たまごをうむ。



茶色くなったヘチマの実

